

寺子屋にしお（市内14か所）

－学校近くの公共施設や地域の寺などで開設－

■概要

小学校1～3年生までのサードプレイスとして、週2日、市内12か所で、放課後の安心・安全な居場所を提供するとともに、学習やふれあい活動をとおして、児童たちの交流を深めています。また、寺子屋学習会（市内2か所）は、1～3年生までを対象に、寺子屋にしおの指導員が指導者となり、夏休みに開催しています。

■特徴的なこと・工夫していること

外部講師を寺子屋1か所につき年2回招き、お茶会、音楽会、手品、工作などを体験しています。

指導員対象の研修会や情報交換会を行っています。

■プログラム内容

宿題、工作、読み聞かせ、ドッジボール、鬼ごっこ等ゲーム

■課題

指導員は公募ですが、次の年度も継続できる指導員と、そうでない指導員がいるため、指導員の構成が安定しづらい開設場所があります。

特別な配慮を必要とする児童の対応が、うまくできる指導員が少ないです。

■成果

「外部講師の活用により、指導員だけでは体験させることができない活動を児童たちに体験させることができた」などの指導員の声があり、児童たちの体験活動を充実させることができました。

■活動の様子



■開催状況

各寺子屋は週2日 学習会は年4日

■主な活動場所

公共施設、寺など

■参加人数

1寺子屋あたり平均11人/日

■指導員数

1寺子屋あたり3人/日